

平成25年3月期 決算説明会

平成25年6月12日



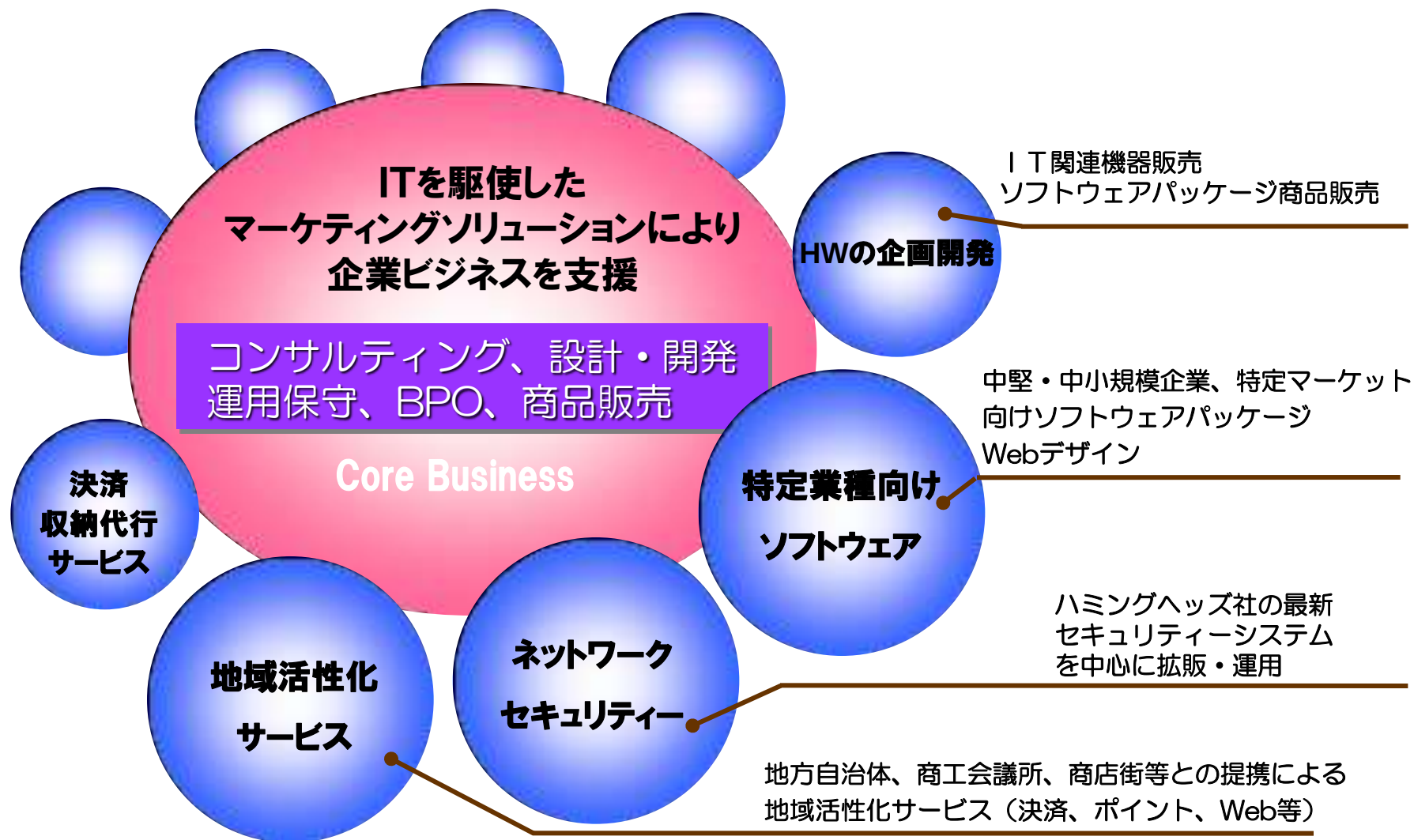
イメージ情報開発株式会社

大証JASDAQ：証券コード 3803

- I グループ概要**
- II 平成25年3月期 決算概要**
- III 3か年計画**

【設 立】	1975年（昭和50年）10月																										
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 衛																										
【資 本 金】	4億6,705万円																										
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営																										
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町 2-4-11 犬塚ビル																										
【子 会 社】	2社（イクオス株式会社、株式会社インスパイア）																										
【沿 革】	<table><tr><td>昭和50年10月</td><td>会社設立</td></tr><tr><td>昭和51年 4 月</td><td>コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始</td></tr><tr><td>昭和55年12月</td><td>本社事務所を東京都港区新橋に移転</td></tr><tr><td>昭和59年 4 月</td><td>システムインテグレーション事業に進出</td></tr><tr><td>平成16年 4 月</td><td>セキュリティサービス販売を開始</td></tr><tr><td>平成17年 9 月</td><td>インターネットデータセンター開設</td></tr><tr><td>平成18年 4 月</td><td>大阪証券取引所へ上場（現JASDAQ）へ株式上場</td></tr><tr><td>平成19年 5 月</td><td>本社事務所を東京都港区芝大門に移転</td></tr><tr><td>平成21年 7 月</td><td>NSセミコン株式会社を子会社化</td></tr><tr><td>平成21年12月</td><td>イクオス株式会社設立</td></tr><tr><td>平成23年 7 月</td><td>本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転</td></tr><tr><td>平成24年 9 月</td><td>株式会社インスパイアを子会社化</td></tr><tr><td>平成24年12月</td><td>NSセミコン株式会社を子会社から除外</td></tr></table>	昭和50年10月	会社設立	昭和51年 4 月	コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始	昭和55年12月	本社事務所を東京都港区新橋に移転	昭和59年 4 月	システムインテグレーション事業に進出	平成16年 4 月	セキュリティサービス販売を開始	平成17年 9 月	インターネットデータセンター開設	平成18年 4 月	大阪証券取引所へ上場（現JASDAQ）へ株式上場	平成19年 5 月	本社事務所を東京都港区芝大門に移転	平成21年 7 月	NSセミコン株式会社を子会社化	平成21年12月	イクオス株式会社設立	平成23年 7 月	本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転	平成24年 9 月	株式会社インスパイアを子会社化	平成24年12月	NSセミコン株式会社を子会社から除外
昭和50年10月	会社設立																										
昭和51年 4 月	コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始																										
昭和55年12月	本社事務所を東京都港区新橋に移転																										
昭和59年 4 月	システムインテグレーション事業に進出																										
平成16年 4 月	セキュリティサービス販売を開始																										
平成17年 9 月	インターネットデータセンター開設																										
平成18年 4 月	大阪証券取引所へ上場（現JASDAQ）へ株式上場																										
平成19年 5 月	本社事務所を東京都港区芝大門に移転																										
平成21年 7 月	NSセミコン株式会社を子会社化																										
平成21年12月	イクオス株式会社設立																										
平成23年 7 月	本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転																										
平成24年 9 月	株式会社インスパイアを子会社化																										
平成24年12月	NSセミコン株式会社を子会社から除外																										

- システム開発を中心とした総合サービスによる『企業ビジネスの支援』、シナジーの得られる製品・サービスで構成します。



- I **グループ概要**
- II **平成25年3月期 決算概要**
- III **3か年計画**

■ 平成25年3月期連結業績

◎ 売上高 744百万円(前期:729百万円)

運用/保守拡大、BPO/サービス分野は堅調に推移するも、システム設計/構築は微減、商品販売は減少

◎ 経常損失 80百万円(前期:経常利益 6百万円)

売上原価率が上昇、売上高微増で補填できず

◎ 純損失 75百万円(前期:純損失 118百万円)

関係会社株式売却益を計上するも、事業構造改善費用を特別損失に計上

■ 事業進捗状況

先進的マーケティングソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

◎ IT支援サービスの推進

- ・ 大型案件を含む大企業からのシステム設計開発案件の受注確保
- ・ 関連会社の機能を活かしたトータル提案

◎ 自社プロダクトサービスの促進

- ・ スマートフォン、タブレットおよびデジタルサイネージなどの特徴を活かした観光情報発信ソリューション『Easy Navi』の拡充
- ・ 段ボールメーカー向け基幹システム『i-case（アイケース）』の機能向上

◎ サービス・BPOの拡大

- ・ 地域商店街等向けのクレジット決済サービスの取扱拡大
- ・ 商工会議所が主催する各種検定試験の業務受託

■ 株式会社インスパイアを子会社化

当社グループは、マーケティング戦略とグローバル戦略の強化を図っております。その第一弾として、当社は、平成24年9月3日に、株式会社インスパイアから割り当てられた株式を引受け発行済株式総数の71.43%を保有することとなり、同社を子会社化いたしました。

株式会社インスパイアはマーケティング機能に卓越した企業で、現在取引先に大手のメーカー、流通企業等を有しており、大手の外資系コンサルタント企業や広告代理店等からのアライアンス要請も受けております。

平成25年度はその本格稼働を推し進めます。

■ グローバルソリューション事業の開拓

アジアの辺境を攻め、眠る商機を開拓します。成長意欲の旺盛な海外の要望に、日本の優れた技術・ノウハウときめ細かなサービス力を発揮するステージを開拓してまいります。

■ 企業投資・提携

◎ ハミングヘッズ社との提携強化

新開発されたコンピュータウィルス対策ソフトの拡販分野において両者の強みを活かした提携を強化します

◎ 株式会社ブイエムシーとの提携

オゾンを使った化粧品の製造、販売会社であるブイエムシー社とアンチエイジングモールを運営する子会社イクオス株式会社の提携により、付加価値の向上をはかります

■ 経営インフラの強化を実施

平成24年7月に意思決定の迅速化、プロジェクト管理体制、要員管理体制を強化を目的に、事業部制への組織再編を実施、その本格稼働を実現します

【単位：百万円】

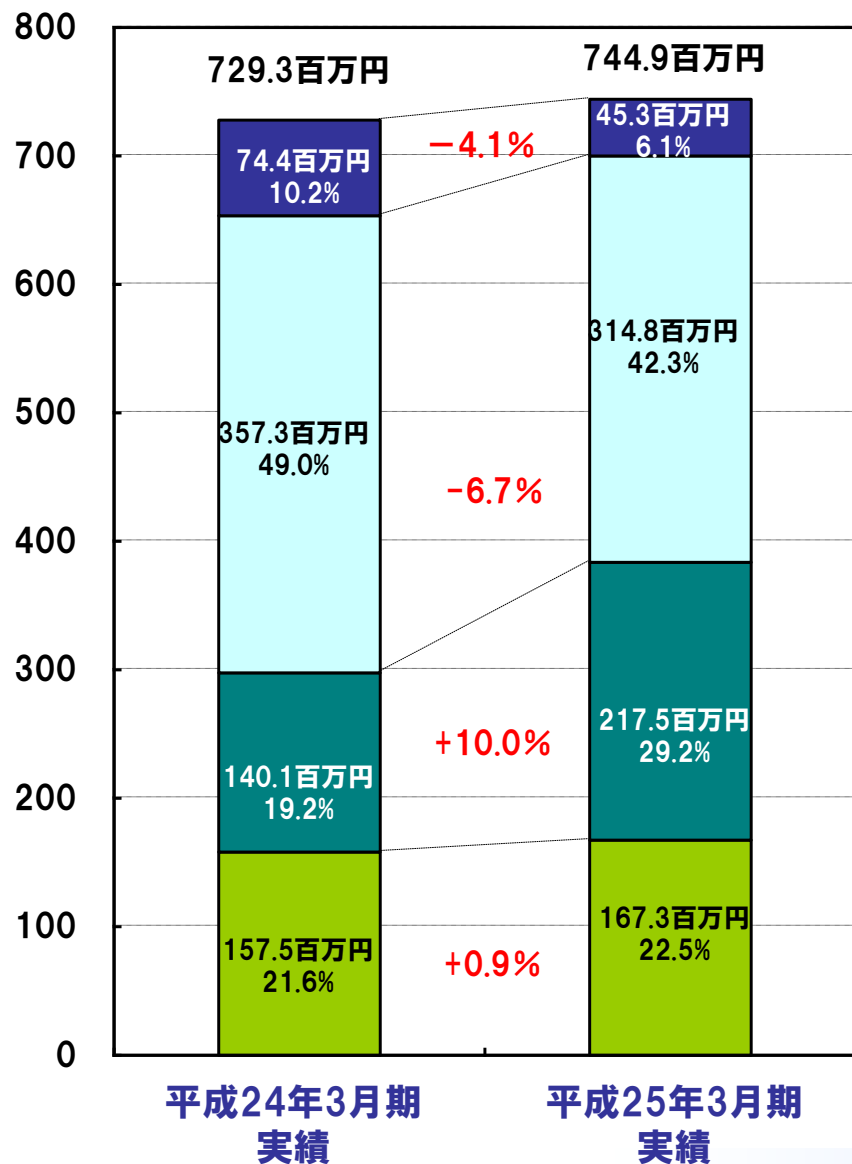
	平成25年3月期 実績	平成24年3月期 実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	744	729	15	2.1
売上総利益	191	263	△71	△27.1
販管費	275	269	5	2.2
営業損失	△83	△6	△77	—
経常利益	△80	6	△14	—
純損失	△75	△118	3	—

- ✓ 売上高：運用/保守大幅増加、BPO/サービス分野は堅調、商品販売が減少
- ✓ 経常損失：売上原価率上昇、売上高微増で補填できず
- ✓ 純損失：関係会社株式売却益計上するが、事業構造改善費用を計上

売上構成【連結】



【単位:百万円】



商品販売

NSセミコン社子会社除外で大幅に減少

コンサルティング/設計/構築

大企業からの受注を維持するも対前年微減

運用/保守

インスパイア社が加わり大幅に増加

BPO/サービス

商工会議所ならびに地域商店街等向けクレジット決済サービスの取扱拡大、デジタルサイネージによる地域活性化サービスの新規受注により堅実に推移

【単位：百万円】

	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
資産合計	927	873	△54	△ 5.8
流動資産	759	660	△100	△ 13.1
固定資産	167	213	46	27.2
負債合計	232	252	20	8.6
流動負債	144	139	△4	△3.0
固定負債	87	112	24	27.7
純資産合計	695	621	△74	△ 10.6
負債純資産合計	927	873	△54	△ 5.8

- ✓ 流動資産：現預金 67百万円減、受取手形及び売掛金 53百万円減
- ✓ 固定資産：ソフトウェア仮勘定 28百万円増、有形固定資産 12百万円増
- ✓ 流動負債：短期借入金・1年内返済予定長期借入金（子会社）7百万円増
- ✓ 固定負債：長期借入金（子会社）10百万円増 退職給付引当金 7百万円増
- ✓ 純資産：利益剰余金 76百万円減

【単位：百万円】

	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 実績	対前期比 増減
営業活動によるキャッシュフロー	33	2	△31
投資活動によるキャッシュフロー	1	△ 11	△ 13
財務活動によるキャッシュフロー	△ 0	△ 7	△ 7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	34	△ 16	△ 51
現金及び現金同等物の期末残高	183	166	△22

- ✓ 営業活動CF：税金等調整前当期純損失 67百万円
関係会社株式売却益 31百万円
- ✓ 投資活動CF：貸付による支出 47百万円
無形固定資産の取得による支出 34百万円
- ✓ 財務活動CF：借入金の返済による支出 7百万円

- I **グループ概要**
- II **平成25年3月期 決算概要**
- III **3か年計画**

3か年経営計画

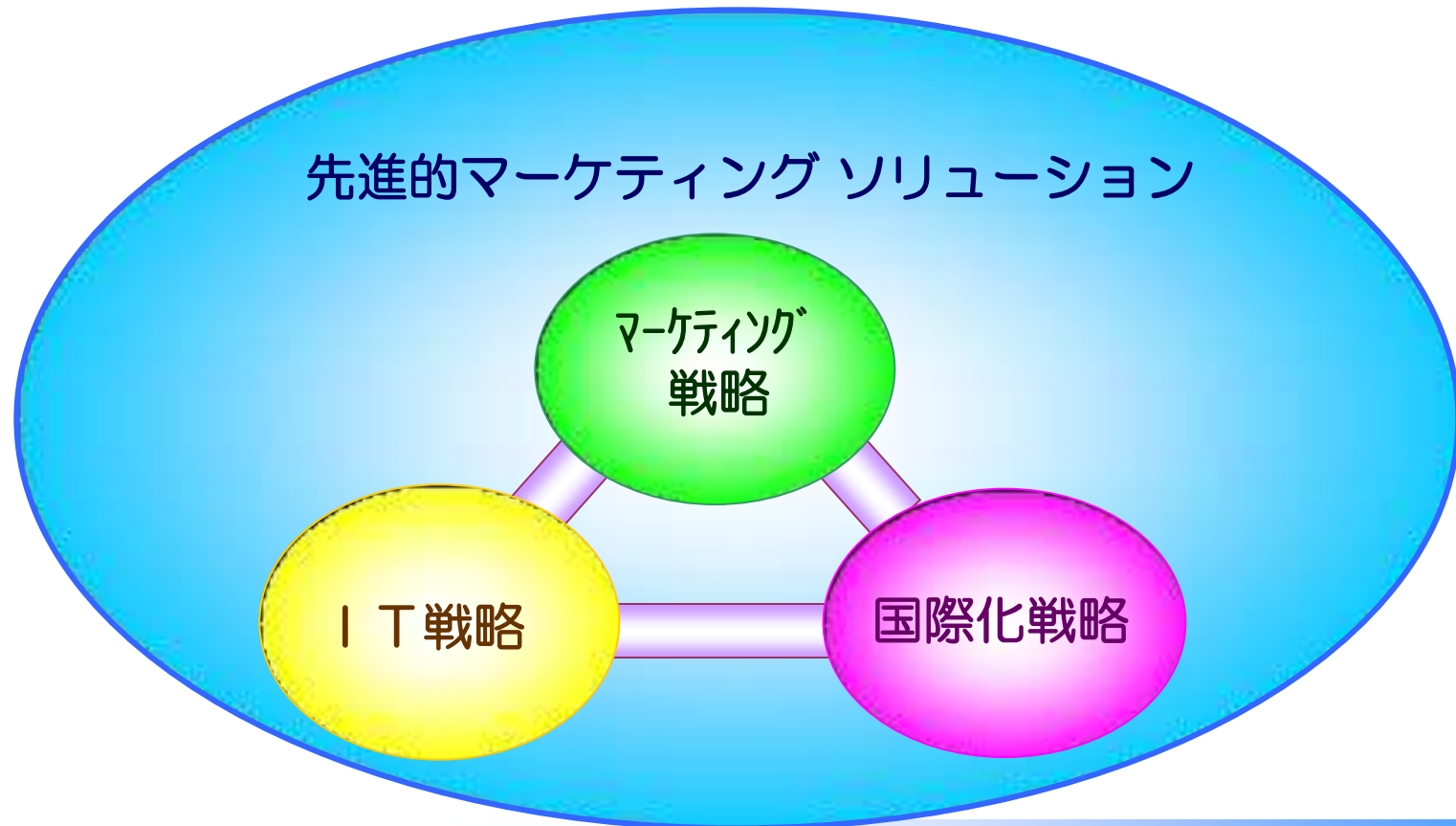
平成26年3月期～平成28年3月期

平成25年6月12日
イメージ情報開発株式会社

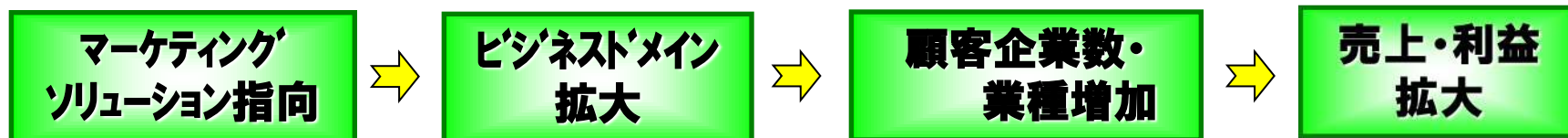


- ☆ 今や企業の大小を問わず企業経営に求められているのは国際化戦略を含めたマーケティング戦略そしてそれらを支えるIT戦略と確信します。そして企業経営者はITを理解し、国際化にも視野を持ったマーケッターであるべきです。
- ☆ 当社はビジネスインテグレータを標榜し、IT戦略を核に企業ビジネスのサポートを基本方針としてまいりましたが、時代の変化、求めに応じて「先進的マーケティングノウハウとそれを支えるIT機能を駆使し、変革を求める企業の経営を支援する」とする新たな理念の下大きく飛躍します。その目的のため実績豊富な特異性を有する諸企業との提携や経営統合を視野に入れ数々のテーマを既に共有し始めております。
- ☆ その結果広範な機能の強化(ドメインの拡大)により売上、利益とも大幅に拡大するものと確信致しております。

当社グループは、期初に掲げた「先進的マーケティングソリューションとそれを支えるIT機能をもって、変革を求める企業の経営を支援する」という理念のもと、国際化戦略を含めたマーケティング戦略機能に向けた取り組みを推進しております。



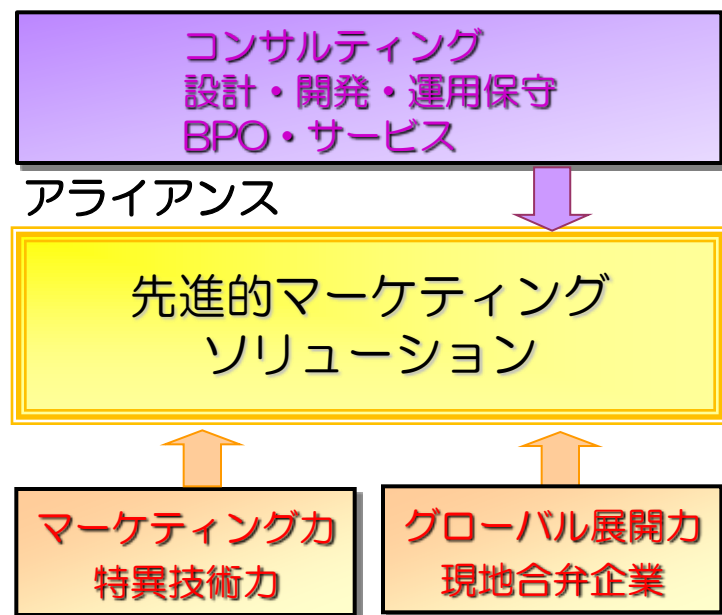
経営効率化と業容拡大を目指します。



- (1) グループ会社との協業によるビジネスドメインの拡大ならびに優良顧客の開拓、増強
- (2) 内部情報漏洩セキュリティのパイオニア「ハミングヘッズ社」とのプロジェクトの一層の活性化
- (3) 特異性を有する企業との提携・経営統合
 - マーケティング関連企業
 - インスパイア社の強化と新規企業の統合を計画中
 - グローバル関連企業
 - アジアにおける広範な分野での複数企業の合併会社設立準備開始 他
- (4) 本社2事業部制の本格稼働による効率化促進

- (1) 変動の激しい現在の市場動向にスピーディーな対応を求め特異性を有する諸企業とのアライアンスを実施する。
- (2) 時代の要請に沿ったビジネスモデルを創出し、他社の追従を許さない独自のトータルサービス体制を確立する。
- (3) 短期的には営業利益の黒字化を最優先し、中期的には売上及び利益の倍増をめざす。

当社のIT総合サービス



特異性を有する諸企業

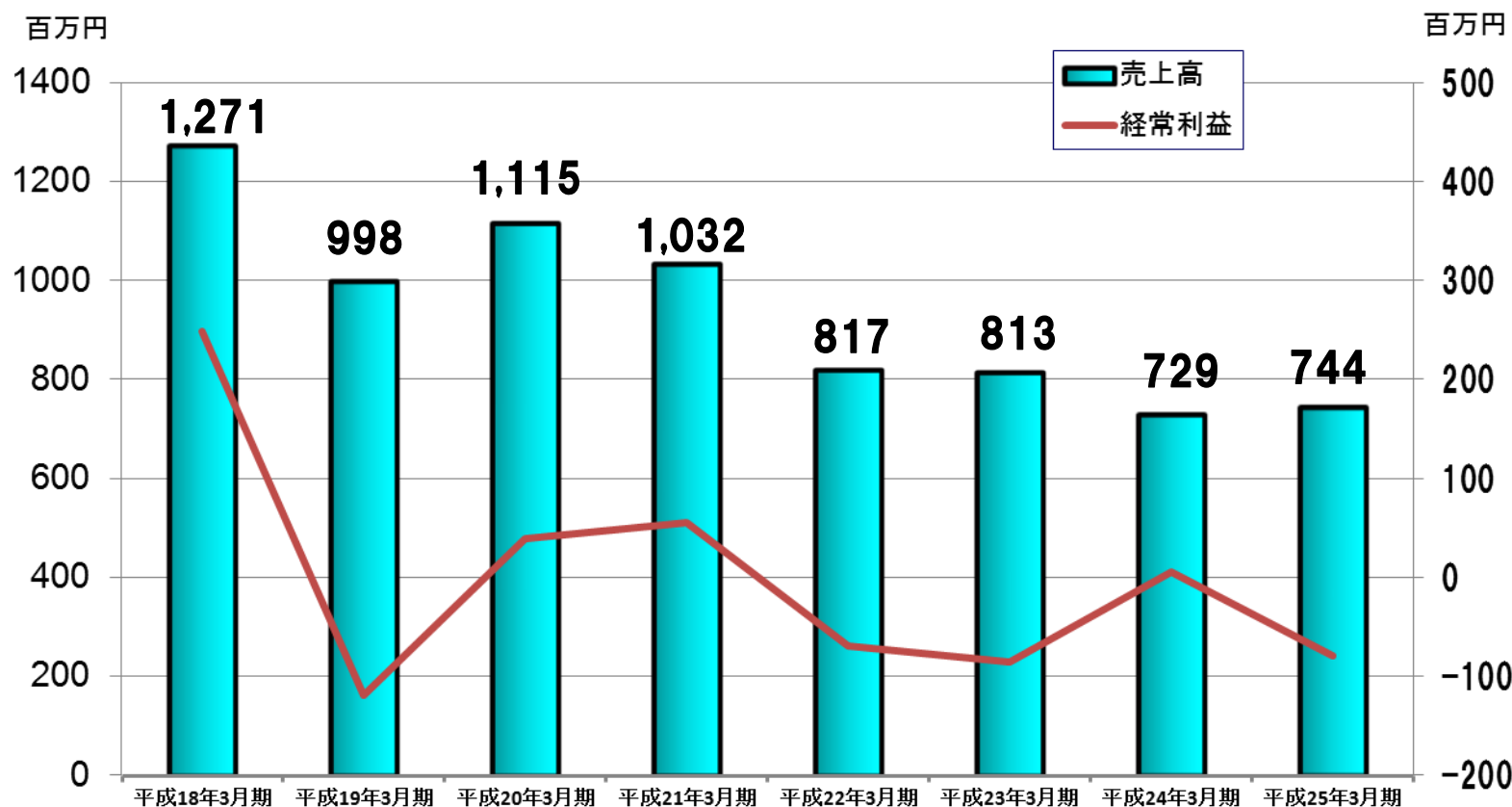
技術開発による事業基盤の強化
製品・サービスの開発

他社の追従を許さない
独自のトータルサービス

高付加価値データセンター

グループ内の連携プレー

■ グループでの売上V字回復、組織構造の改革による利益体質転換への足場構築
継続的成長に向けた事業推進

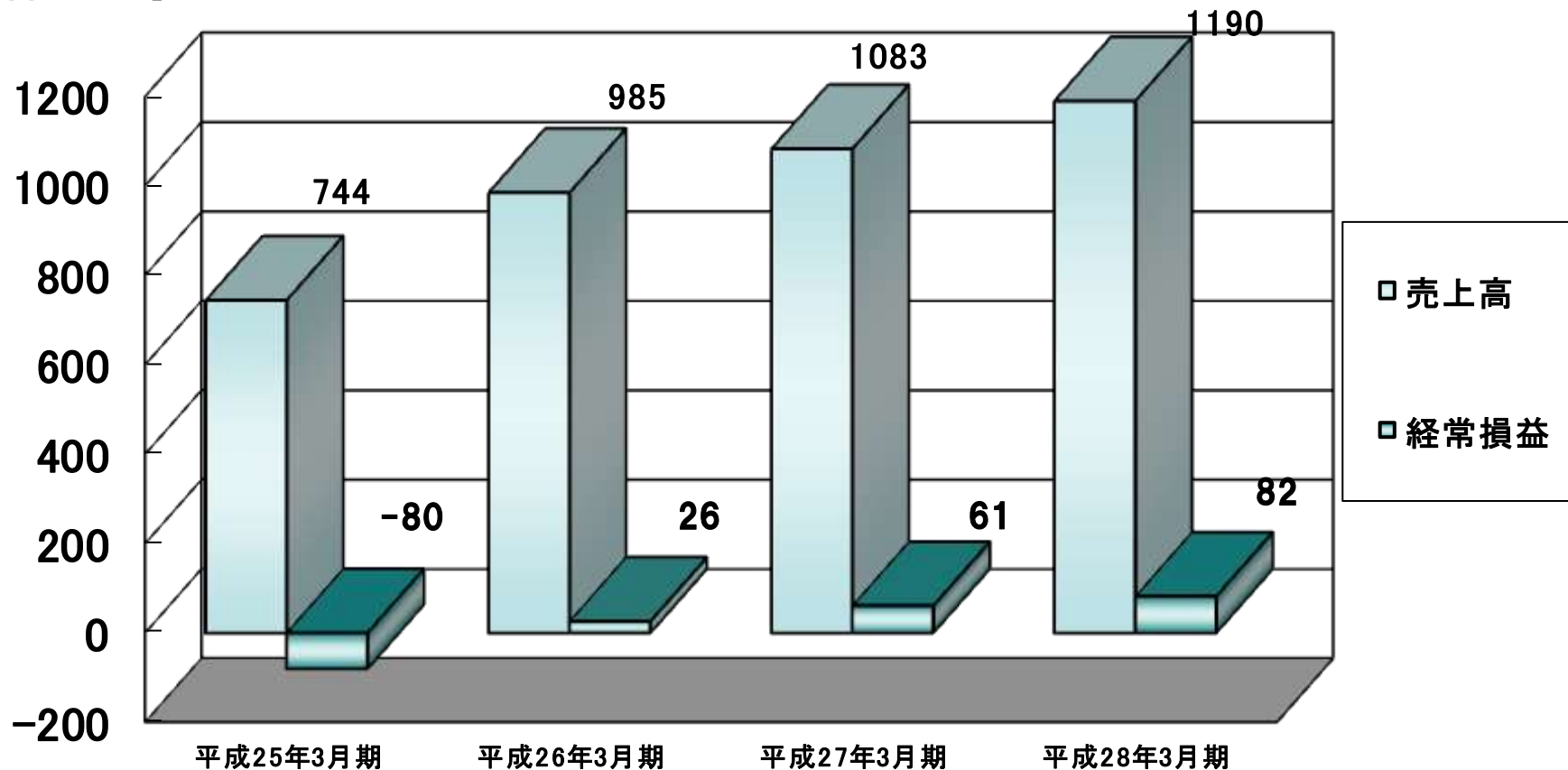


3か年計数計画



- 平成26年3月期 売上高 985百万円、経常利益 26百万円
- 平成27年3月期 売上高 1,083百万円、経常利益 61百万円
- 平成28年3月期 売上高 1,190百万円、経常利益 82百万円

【単位:百万円】



本日は、ありがとうございました。

＜お問い合わせ先＞

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。